

「火災による死者ゼロ」

～火災から命を守る6つのSTEP



今年に入り火災による死者が急増しています。令和6年2月20日現在、既に10人が住宅火災により亡くなっており、前年同期と比べて7人増えています。火災による死者の発生経過の多くが逃げ遅れであり、火災から命を守るためには、早めの避難が非常に重要です。



もし**火事**になったらどうしますか？

日頃の備え

住宅用火災警報器が鳴動



煙等で玄関から出られないこともあることから2方向以上の避難経路を考えておくこと。

窓・ベランダ等

STEP1

まずは、火元の確認

火災確認

避難可能時間はほんのわずか
早期の避難を第一に！

できない

STEP2

消火できるか判断

できない

できる

STEP4

避難

STEP3

周りに知らせながら消火器等で初期消火

できない

できた

できない

できる

STEP5

窓、ベランダ等、外気に触れる場所への避難
(救助を求める)

STEP6

119番に通報する

☆STEPごとの対応は裏面に・・・

STEP1

まずは、火元の確認 ※煙により、火元が確認できない場合はSTEP4・5へ

- どこの住宅用火災警報器が鳴ったか
- 何がどのくらい燃えているのか



STEP2

消火できるか判断

- 消火できる
 - 消火できない
- check
- 火元が確認できる
 - 炎が天井に達している
 - 炎が天井に達していない
 - 煙や熱気で火元に近づけない



※マンションのベランダからの避難

マンションの玄関から逃げるのが難しいときはベランダから避難はしごを使って逃げるようにしましょう。

へだて板を破り隣のベランダに行く



※出典 一般財団法人
日本防火・危機管理促進協会
「家族を考えよう」

STEP3

周りに知らせながら初期消火!

- 「火事だー」と大声でさけぶ
- 安全な位置(3m~5m)まで消火器を運ぶ
- 火元を狙って、放射する
- 消えなかったら、すぐに逃げる

※ 服に火がついたら、倒れて左右に転がり消火する

STEP4・5

避難

- タオルやハンカチ等で口と鼻をおおい、姿勢を低くして逃げる
- 火元から、離れるように逃げる
- 煙により逃げられない場合は、窓・ベランダ等、外気に触れる場所へ逃げる(救助を求める)
- 絶対に戻らない



STEP6

119番に通報する

- 通報はあわてず聞かれたことを正確に答える
- 携帯電話の場合、所在地をはっきりと伝える



こんなものがあります!



火災から命を守る機器

住宅用火災警報器

警報音や音声で火災の発生を知らせて、被害の拡大を防ぎます。



住宅用消火器

火が小さいうちの消火に役立ちます。



防災品

火がつきにくい素材で、その製品から火災が燃え広がるのを防ぎます。



安全調理器具

油の過熱防止装置、立ち消え安全装置などのついた機器を使いましょう。



●「ご不明な点は、最寄りの消防署までお問い合わせください。」

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町140-5
横浜市保土ヶ谷消防署 電話:045-342-0119